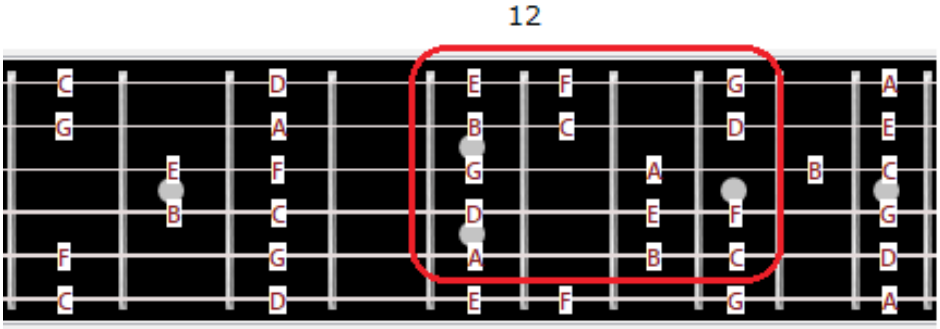
Vol.14　Xm7 コードの構造を確認してみる　～その 2～

では、vol.14、始めていきましょう。

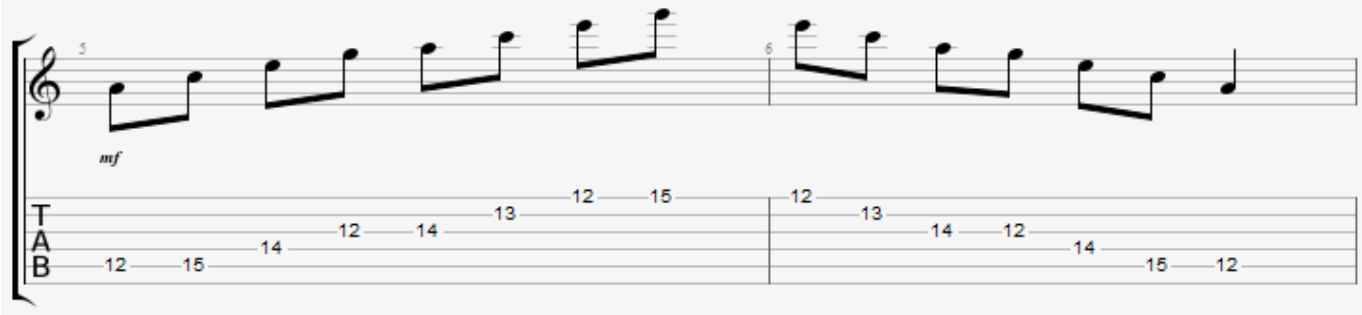
前回の 6 弦ルートに引き続き、今回は 5 弦ルートです。

A ナチュラルマイナースケールを基準にするので、5 弦開放 A 音でも良いのですが、そこだと少しポジションが取りにくいので、5 弦 12 フレット A 音周辺で見ていきましょう。

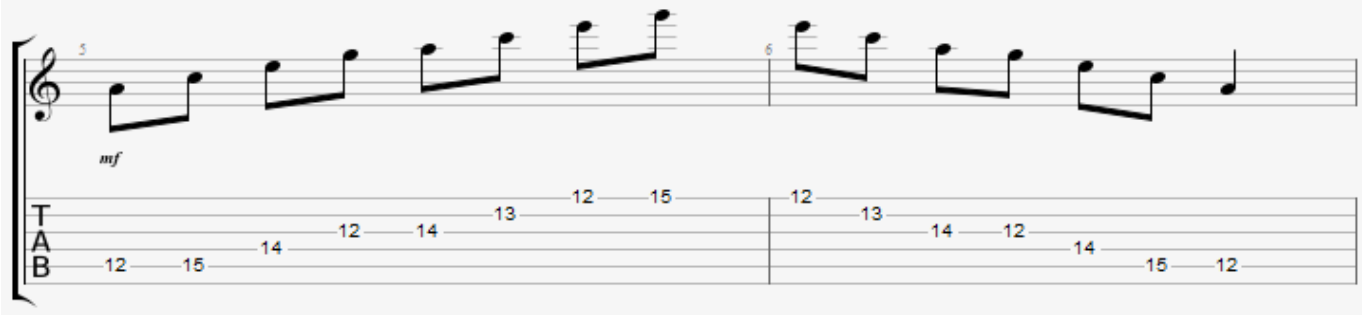


ここも、ボディ側とヘッド側の両方に進むパターンを弾いて行きます。

譜例 1



譜例 2



vol.11 から始めたこれらのコードトーン・アルペジオは、テキストでは 7th までを含めた 4 和音の弾き方を載せていますね。

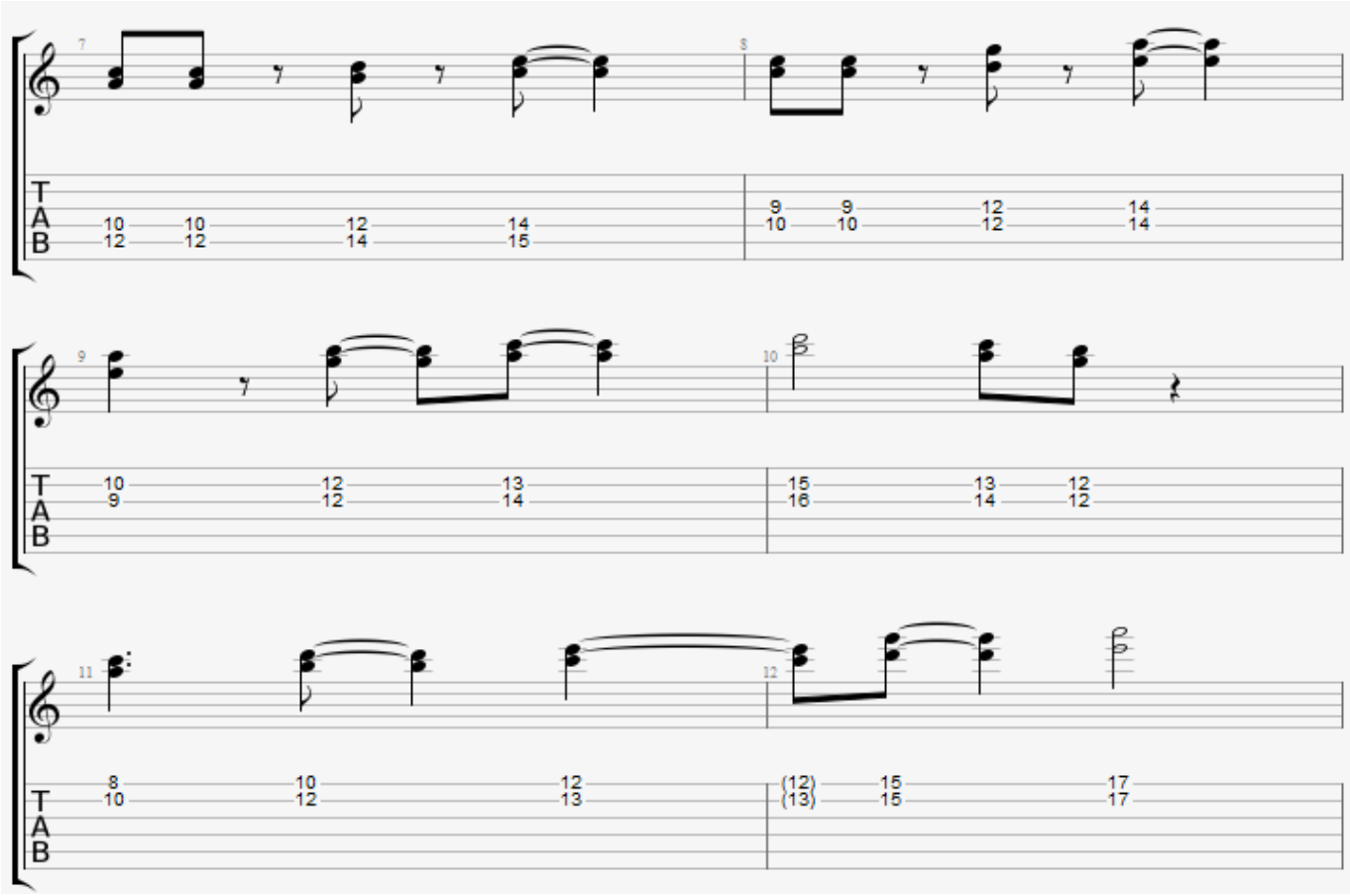
これは当然、トライアドでも可能なので、そちらの弾き方も探ってみましょう。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

トライアドのアルペジオフォームに関しては、過去やってきたトライアド関連の練習からも導き出せるはずですし、【教科書】の vol.45 にも基本的なものが載っていますので、それらを参考にしてください。

では次に、ダブルストップ系の弾き方を見ていきましょう。

譜例 3



これまでのテキストのものとは違い、譜割りを付けて少しフレーズっぽくしていますが、やっている事自体は同じです。

この場合、Am7 の構成音の他にも、9th(M2nd)と 11th(P4th)のテンションが入っています。

重音系の奏法をする時は、コードに対して、各テンションの使える、使えない、がありますのでその辺りは気を付けましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved